

「富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対する
パブリックコメントの結果について

1 実施方法

- (1) 募集期間 平成28年1月19日（火）～2月18日（木）
- (2) 告知方法 広報ふじみ 市役所ホームページ
- (3) 総合戦略（案）の閲覧および用紙の配布場所
市役所本庁舎1階市政情報コーナー、本庁舎2階政策企画課、各公民館・交流センター・コミュニティセンター、ピアザ☆ふじみ、中央図書館、図書館鶴瀬西分館、市ホームページ
- (4) 意見提出方法 持参、郵送、ファックス、電子メール

2 意見提出件数

- (1) 意見提出者数 4名
- (2) 意見提出件数 28件
 - 内訳 第2章 人口ビジョン関係・・・・・・・・0件
 - 第3章 総合戦略関係・・・・・・・・22件
 - 全 般・・・・・・・・6件
 - 合 計・・・・・・・・28件

3 意見概要、対応方針・市の考え方（案）

別紙のとおり

「富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対する意見募集結果と市の対応について(案)

資料1

番号	頁	該当箇所	意見概要	対応方針	市の考え方
1			<p>総論:「子育てするなら富士見市で」を本市の総合戦略の柱とする。策定いただいた総合戦略案でも、市長提案のこの標語を重視しているのはわかります。しかし全体として総花的になっており、ぼやけてしまっています。この標語を中心に戦略を組み立てることを提案します。</p> <p>例えば、総合戦略(案)P21の、通勤・通学の動向分析結果による課題として、「昼夜間人口比率は、全国の市のなかで最も低くなっていますが、今後は市内に就業・就学を増やし、昼間人口の増加を図る必要があります。」とまとめられていますが、なぜ昼間人口を増やす必要があるのかの分析がありません。</p> <p>富士見市は、日本一のベッドタウンなのです。そのことを誇らずになぜ順位を下げようとするのでしょうか？</p> <p>日本一のベッドタウンとして、高い住民税を払ってくれる高額所得者の誘致こそが市の戦略としてあるべきです。</p> <p>市は、人口が増え(ひと)、にぎわい(仕事)、便利な(まち)市とすることを目指すとのことですが、その究極のKPIは、税収でしょう。</p> <p>高額所得者＝高額な住民税の納税者を中心に誘致し、人口を増やす。それによって税収が増やす、ということを目指すべきです。</p>	総合戦略の柱は原文のとおりとします。	<p>・本市の総合戦略は、第5次基本構想中期基本計画を踏まえるとともに、平成72(2060)年においても人口10万人を維持していくといった将来展望を掲げ、中・長期的な視点で人口減少克服と本市の魅力向上につながる施策を取りまとめた成長戦略としております。そうした中において、基本施策「子育て支援の充実」では、「子育てするなら富士見市で」を推進し、子育て世帯の定住化を促進していくことは重要な取り組みの一つとして位置づけております。</p> <p>・H22国勢調査における昼間人口につきましては、高齢化の進展等に伴い、就業流出人口が減少している一方、就業流入人口は依然として伸び悩み、その結果として昼夜間人口比率が低くなったものと分析しております。就学・雇用の場を創出し、就業流入人口を改善していくことでまちの賑わいを創り、本市の活性化につなげていくため、昼間人口の増加を図る必要があると考えているものです。</p>
2			<p>具体戦略: <子育てするなら富士見市で></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育特区となり、土曜日には、教育指導要領を超えた教育～受験対策ではなく、本当に生きる力をつけるような教育を実践する ・本庄早稲田高校に匹敵する有名校を誘致する(実際、慶応志木に子供を入れるために引越してきている人もいます) ・保育料無料を第三子からなどケチ臭いこと言わずに、一人目から無料とする。 	貴重なご意見として賜ります。	<p>・本市では、小中学校の2学期授業日を拡大し、教育の充実を図っておりますので、土曜日授業は今のところ考えておりません。</p> <p>・基本施策「魅力的な土地利用の推進」において、教育機関の誘致については、本市のさらなる魅力向上につながるものと考えておりますので、今後、シティゾーンや水谷柳瀬川地区における土地利用を推進していく中で検討してまいります。</p> <p>・保育料無料の取り組みについては、国・県の動向などを注視してまいります。</p>
3			<p>具体戦略: <高額所得者を集めるために></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイムふじみ野のようなタワーマンションを、みずほ台エリアに誘致する。 ・官民の研究機関を誘致する(和光の理化学研究所やホンダのような) ・関東地下水盆の温水を利用した地熱発電と利用企業の誘致 	貴重なご意見として賜ります。	<p>・人口減少を克服する成長戦略である本市総合戦略においては、「まち」「ひと」「しごと」の創出に関連した施策をバランスよく取り組むこととしております。</p> <p>タワーマンションや官民の研究機関などの誘致につきましては、貴重なご意見として賜り、今後、基本施策「魅力的な土地利用の推進」において、産業系・教育機関等の誘致を検討することに合わせて魅力のある、誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを推進してまいります。</p>
4			<p>具体戦略: <街の機能向上のために></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の利便性の向上～市役所―鶴瀬駅間を動く歩道でつなぎ、ららぽーと渋滞によるバスが来ない問題を解消する。 ※動く歩道の建設費は、200万円/m。市役所―ヤオコー富士見羽沢店700mで14億円このくらいは、ららぽーとからの事業税でできるはず。 ランニングコストは、地熱と歩道上の太陽光発電でまかなえる。 ・富士見川越バイパスに和光富士見バイパスが接続(H29)することで、都心から本市へのアクセスが向上する。その入口にあたる下南畑エリアを開発し、外貨(市外の人が本市に落とす金)を獲得する。 とはいえショッピングセンターや遊びの施設だけでなく、日本の高齢化問題にも取り組むべきなので、巨大医療モールをつくる。 医療特区をとり、保険未承認の治療法や新薬も試せるようにする。また、最先端の治療器具、たとえば重粒子線がん治療装置を誘致する。 	貴重なご意見として賜ります。	<p>・本市といたしましても、鶴瀬駅と市役所をつなぐ鶴瀬駅東通線につきましては、重要な路線であると認識しておりますので、鶴瀬駅東口の土地区画整理事業の進捗や、ららぽーと開業による環境変化をプラスの方向に活かしていくことのできるよう努めてまいります。</p> <p>・富士見川越バイパス沿道は市街化調整区域であるとともに農業振興地域であることから、これまでは水田農業を中心とした土地利用が図られておりました。一方で、交通量の増加により交通利便性や立地条件を活かした開発の増加が見込まれる地域でもあることから、地域特性を活かしつつ農業との連携を図りながら魅力ある土地利用を推進してまいります。</p>

「富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対する意見募集結果と市の対応について(案)

資料1

番号	頁	該当箇所	意見概要	対応方針	市の考え方
5	71	魅力ある観光資源を磨く～地域資源を活かした取り組みを推進します～	市立びん沼公園があまり活用されていない。都会に近いキャンプ場として整備すれば、観光資源になる。つりも出来るので、ファミリーユーザーのオートキャンプにしてはどうか。	貴重なご意見として賜ります。	・本市といたしましても、びん沼自然公園は自然あふれる魅力的な公園であり、憩いの場として多くの人に活用していただきたいと考えておりますので、さらなる情報発信に努めてまいります。基本施策「自然の保全と活用」において、旧県立富士見青年の家跡地の活用と合わせ、びん沼自然公園の周辺地域を含む魅力向上への取り組みを検討してまいります。
6	71	情報発信の充実～知ってほしい富士見の魅力を発信します～	駅にキラリ☆ふじみのラックがあるが、市の散歩コースなどのマップが無い。市内散策は健康増進にもなるのでぜひマップ(紙媒体)をつくって設置してほしい。また、市の南部の人が通勤・通学に利用する東上線の柳瀬川駅・志木駅にラックが無く、市民の多くが市の情報を入手しづらい。東上線の駅長と要相談。	貴重なご意見として賜ります。	・基本施策「市の情報発信の充実」において、本市の魅力的な情報を発信し続けるとしておりますので、市の散歩コースのほか、マップの作成についても研究してまいります。
7	74	目的に応じた就労支援～就労意欲の向上を促進します～	障害者就労支援センターの充実が良いと思うが、就労が定時業務に限られては働きにくい人も多い。企画業務など時間枠にとられない業務の成果に対する賃金支払いなどのシステムをご検討ください。	貴重なご意見として賜ります。	・障がい者の就労支援については、今後もハローワークとの連携を強化していきながら、本市の障害者就労支援センターでの相談業務等の充実を図ってまいります。
8	75	農業者の支援～農業イノベーションを推進します～	地産地消をしようと思ってもスーパーに地元産野菜がほとんど見当たらない。流通の整備を支援してほしい。さいたま市は西洋野菜の栽培をすすめ、市内外のイタリアン、フレンチレストランに高値で納入している。三浦半島は大根にこだわり、多品種の生産を行って特産としている。富士見市はカブに特化して多品種(特に伝統品種～江戸野菜など)を生産し高付加価値を追求してほしい。また、市内のレストランにカブを使ったオリジナル料理を提供してもらえよう行政の支援をお願いします。	貴重なご意見として賜ります。	・現在、市内スーパー等においても市内産の農産物の販売を行っている店舗もございます。今後、地産地消をより一層推進するためには、富士見市産の農産物の認知度を向上させる機会の確保と、農の魅力高める取り組みが必要と考えます。その一つの方法としては、ご指摘いただいた方法も必要であると考えます。一方で、農業者の経営体制の強化や、農産物の供給体制の確保等、取り組まなければならない課題も多い状況にあります。ご意見の内容につきましては、今後計画を推進する中で参考とさせていただきます。
9	60	結婚の支援～出会いの場を創出します～	「若者の交流機会の創出」 小・中学校の同窓生同士の交流機会が増えるように誘導して欲しいと思います。年齢が進まないと「婚活イベント」に意識は向きませんが、同窓生のイベントは身構えずに20代前半から気軽に参加できます。大卒者が就職後3年、25歳で結婚すると考えると、20代前半で交際を始めるとちょうどいい具合です。また、双方とも市出身者なので、もともと当市に親近感が強く、当市に新居を構える可能性も高くなります。 国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査 夫婦調査の結果概要」によると、夫妻が知り合ったきっかけは、「学校で」の出会いが11.9%となっており、出会いとして同級生は有力な存在です。また、「友人・兄弟姉妹を通じて」が29.7%あり、同級生が良い人を紹介することもあるでしょう。 成人式の前日祭を公共施設や飲食店で開催できるようにしたり、お正月から各公民館で新成人の卒業年の学校の写真・制服など思い出の品を展示したり(同窓生同士の記念撮影スポット)、(市内在住在勤要件を欠いていても)部活動OB・OG会が主催する親睦試合・公演等で公共施設を借りやすくしたり、学校祭を卒業生のホームカミングデーと位置付けたり…といったことが考えられます。	貴重なご意見として賜ります。	・基本施策「結婚の支援」において若者の交流機会の創出を考えておりますが、現在、市の事業として若者が集う取り組みがほとんどないことから、まずは交流機会の創出としてボランティア参加などの事業を検討しております。今後、若者の交流機会の創出につながる施策の検討を進めていく中で、さまざまな取り組みを研究してまいります。

「富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対する意見募集結果と市の対応について(案)

資料1

番号	頁	該当箇所	意見概要	対応方針	市の考え方
10	62	児童健全育成の推進～子どもの安全な居場所をつくります～	「中高生の健全な居場所づくり」 図書館や交流センターで集会室等を自習室として開放している日もありますが、公共施設を改修するなかで、自習環境をもう少し整備してほしいと思います。日常的に中高生が入りすれば、公民館・児童館のお祭り等の活動に彼らが運営側として参画するきっかけにもなると思います。	貴重なご意見として賜ります。	・基本施策「児童健全育成の推進」では、「児童館」において中高生を対象とした夜間開館の実施に取り組むとしております。 自習室としての開放は、中央図書館の集会室のほか、その他の公共施設にもフリースペースとして開放している場所があります。 今後、公共施設を改修していく中において、自習室としての整備をする必要性については検討してまいります。
11	63	子どもの生きる力を育む～知的好奇心を刺激する学びの場をつくります～	「多様な学習機会を提供」 少子化により成立しない部活動も出て来るかと思っておりますので、地区や校種を超えた合同部活動を実施してはどうでしょうか。メジャーな既存部の維持だけではありません。 例えば、本郷中(下の谷公園)にグランドゴルフ部、東中(荒サイ)に自転車競技部や高校との合同部、資料館に歴史研究部…など周辺環境を活かした部、演技だけでなく舞台技術に興味のある生徒も満足できる大所帯の演劇部をキラリに置くなどの多様性が提供できればと思います。	貴重なご意見として賜ります。	・中学校の部活動においては、各学校の実態に合わせて活動しており、運動部において人数が少ない場合に、複数の中学校が合同のチームとして大会等に参加する場合がございます。 今後は、教育活動としての位置づけ、生徒の安全確保、地域との連携等、検討の必要があると考えております。
12	67	公園・広場の整備促進～特色を活かした公園を創ります～	「人が集う魅力的な公園の整備」 公園内ないし付属の駐車場で移動式売店(人かないしワゴン車)やコンテナショップ(例:佐賀市「わいわい!!コンテナ」)が営業できるようにしてほしいです。運動公園や水子貝塚公園には自販機が、難波田城公園には売店がありますが、一般の公園にも拡大を。 休憩・喫食機能だけでなく、急病・事故・不審者があった場合の通報や救護をお願いし、公園内の簡単な見回り・清掃を委託すれば、管理人が常駐しているに等しいより安全な公園となると思います。	貴重なご意見として賜ります。	・公園は、法により行為の制限や、公園施設以外の物の設置等について制限されておりますが、人が集まるイベント開催での売店の設置などについては今後研究し、公園利用者や地域の方々にとって有益な施設となるよう努めてまいります。
13	68	住環境の向上～安心と快適性の高いまちを創ります～	「多世代の近居・同居の促進」 近居・同居には、配偶者の理解と協力が欠かせないので、(市出身者ではない)配偶者にも富士見に親近感を持ってもらう取り組みが必要と思われます。 例えば、夏休みの公民館・キラリ・体育館・資料館が行う親子向けプログラムに招待し、市内の親子と友達になってもらったり。農家・商店街からクーポン券を渡したり。通常、こういった取り組みは、市内在住・在勤者対象となっておりますが市外に住民登録している市出身者世帯は想定していません。	貴重なご意見として賜ります。	・基本施策「住環境の向上」において、多世代の近居・同居の促進に取り組むとしており、住宅貸付金利優遇制度の導入を検討しておりますが、今後、近居・同居の促進に向けた施策の検討を進めていく中で、さまざまな取り組みを研究してまいります。
14	69	良好な交通環境の創造～安全性の高い交通環境を実現します～	「連続立体化に向けた取り組み」 長期間に渡る立体化事業の大半が公費でまかなわれるため、既存公共施設や道路の維持修繕に十分な予算を確保できるか心配に思います。また、生産人口が減り運賃収入が減る50年後にそれを更新できる体力が鉄道会社に残っているかという点も気になります。 運賃の値上げや再度の公費投入が必要になるのではないかと。 推進するのであれば、市民に覚悟を決めてもらうための分析がもう少し必要かと思えます。財政上の裏付け、安全技術の進展による踏切遮断時間の短縮、防犯カメラの自動画像解析による踏切の障害物・不審者の検出・発報、輸送の効率化・生産人口減・自転車へのシフトによる渋滞緩和との比較など。	貴重なご意見として賜ります。	・鉄道の立体交差化事業は、踏切事故の防止や東西交通の活性化の観点から取り組みを進めるものですが、ご指摘いただいたように、多くの財政負担や期間を必要とします。しかしながら、本市がさらに魅力あふれる市へと発展していくためには、立体交差化を進めることも一つの取り組みと考えておりますので、長期的な視点で、今後も鉄道会社と協議・検討してまいります。

「富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対する意見募集結果と市の対応について(案)

資料1

番号	頁	該当箇所	意見概要	対応方針	市の考え方
15	71	魅力ある観光資源を磨く～地域資源を活かした取り組みを推進します～	「サイクルシェアリングの検討」 ららぽーと富士見への南からの車が渋滞しているので、下南畑交差点に隣接した和光富士見バイパス予定地に鉄板を敷いたり、寺下商店街・竹ノ内工業団地付近の事業所駐車場の協力を得たりし、「パーク&サイクルライド」の社会実験を行ってはどうでしょうか。後者は、帰りに雨が降っても駐車場へのバスの便があります。 加えて、ふじみ野市・三芳町・新座市と、それらに所在する大学と連携し、学生への貸出を実施してもいいと思います。スクールバスよりもゆっくりで寄り道しやすい足を確保し、また、線路東側にも回遊してもらうことは地域にとって大きなメリットです。 学生街では、一人では絶対に入らない(入れない)雰囲気のあるお店も、学生の先輩後輩文化の中で常に新しいお客さんが訪れ愛されています。ロードサイド、大規模駐車場、チェーンストアよりも、地域のお店と親和性の高い消費者です。	貴重なご意見として賜ります。	・基本施策「魅力ある観光資源を磨く」において、サイクルシェアリングの導入の検討をしていくとしており、ご提案については貴重なご意見として賜り、今後、ニーズや費用対効果等の課題を検証しながらサイクルシェアリングの導入に向けた研究をしてまいります。
16	71	情報発信の充実～知ってほしい富士見の魅力を発信します～	「スマートフォン向けご当地アプリの導入補助」 既存の大手SNSや動画投稿サイト、県のアプリ「ポケットブックまいたま」への情報掲載を重視し、スタンプ機能などのごく軽い編成とした方が良くと思います。情報を検索する機能については、「寄らば大樹の陰」で、大きいサイト、掲載数の多いサイトが圧倒的に有利です。	貴重なご意見として賜ります。	・本市の多彩で豊かな地域資源を内外に発信し、積極的にPRするためにきめの細かい情報発信に努めてまいります。
17	71	情報発信の充実～知ってほしい富士見の魅力を発信します～	「市プロモーションDVDの作成」 「DVD」を「ビデオ(PV)」に変えた方がいいと思います。計画期間内にもう作らないわけではないでしょうから、現時点で媒体をDVDに限定する必要はありません。関係者限定で配布するPVにはDVDの方がいいですが、(PVを見る前は)軽い興味しかない層に見てもらうためには動画投稿サイトの方が優位です。 テレビの録画はHDD、映画はPPV等配信、ノートパソコンにはドライブが付かなくなってきましたので、DVDは見るのも知人に紹介するのも手間です。ネット端末はスマホという形で家族全員が持っていて、電車内など隙間時間に楽しんでいます。学生さんであれば、面白い動画はSNSのグループ内で共有し、夜に紹介すれば、翌朝の学校でクラス全員が視聴済みということも珍しくありません。 ふわっぴーにユーチューバーになってもらって、毎月1本投稿してもらってもいいでしょう。「※御忍びで市内各所を訪問するので小さく変身しています」、と着ぐるみではなく縫いぐるみが出演。喋らないお方なので声優さんもしりませんし、電車の中、昼休みの職場・学校で視聴することも考えれば字幕だけでOK、2分程度で十分でそれが限界です。大きなテレビで見るわけではありませんから、プロ機材で撮影する必要もありません。	貴重なご意見として賜り、文言についてはご指摘のとおり修正します。	・各自治体がプロモーションし、個性を内外に発信する取り組みは、多彩に展開されています。 本市においても、様々な手法を用いたシティセールスに関連した施策の展開を検討してまいります。その中で、ご提案の手法につきましても研究してまいります。 (文言の修正) 市プロモーションDVD→市プロモーションビデオ
18	73	起業家への支援～商店街の活性化を促進します～	「チャレンジショップの開設」 活用度が低い時間帯のある公的な土地を商工会に一括して貸し出し、「チャレンジ屋台」として移動販売のルーキー出店者に巡回出店してもらってはどうでしょうか。 固定の店舗は出店者の都合で臨時休業を繰り返されてはたまりませんが、移動販売なら、出店者の子どもが幼稚園にいる時間だけの営業だったり、学生起業家やゼミ員による企業体なら試験期はお休みとすることもできます。必要なら巡回シフトを変更して他の出店者が穴を埋めます。 地区・幼保など福祉施設・公共施設・商業施設のお祭りにも出店、締めくくりとして「富士見ふるさと祭り」に集合して出店。その後、客単価の高い商売をしたいから固定店舗を探したり、各地の多くの消費者と触れ合いたいと移動専門になったり、あるいは、当市とは縁がなかったと傷が浅いうちに諦めるか、いったん就職した後の再チャレンジを誓ったりします。 あちこち回るうちにファンが増え、物件オーナーが評判を聞きつけてスカウトするかもしれませんし、「真摯で本当に応援したい若者だ」と安く材料を提供する農業者が出て来るなど、大人の粋な計らいがあるかもしれません。	貴重なご意見として賜ります。	・基本施策「起業家の支援」の取り組みは、商店街内の空き店舗の活用に伴う賃料や改修費の補助のほか、セミナーの開催等を実施することとしており、チャレンジ屋台については想定しておりません。 ・ご指摘いただいたチャレンジショップの取り組みにつきましては、第2次商業活性化ビジョンにおけるアクションプランとして位置づけられておりますことから、具体的な事業実施に向けて、参考とさせていただきます。

「富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対する意見募集結果と市の対応について(案)

資料1

番号	頁	該当箇所	意見概要	対応方針	市の考え方
19	73	起業家への支援～商店街の活性化を促進します～	「出店に係る店舗改装費や店舗賃借料の一部を補助」 家族友人を呼んでDIY・セルフビルドでの改装、移動販売車両の取得・改造により、当市で事業を始める方にも支援が行き渡るようにしていただければと思います。 また、店舗賃借料の補助は間接的に物件オーナーへの支援となることから、1人の補助内定者(出店希望者)を複数の商店街の、複数の物件オーナーが奪い合うような仕掛けを作り、賃借料の適正化を図るべきだと思います。賃借料を補助した上に、賃借料自体も下げてあげれば、より出店者の負担を軽減できます。	貴重なご意見として賜ります。	・基本施策「起業家の支援」の取り組みは、商店街内の空き店舗の活用に伴う賃料や改修費の補助のほか、セミナーの開催等を実施することとしており、移動販売車両については想定しておりません。 ・店舗出店予定者は、自分の経営理念等に基づいて出店場所を検討していることから、ご提案のありました「複数商店街での奪いあうような仕掛け」は困難であると考えます。
20	76	地産地消の推進～食と農のビジネスを推進します～	『「ご当地グルメや昔から伝わる食」(中略)その発信地となる道の駅などの整備を検討します』 ロードサイドに設置する「道の駅」の機能は、国内有数の大規模SCであるららぽーと富士見の開業により既に整備されています。休憩機能はいうまでもなく、情報発信機能についても、JAの店舗や地産地消レストランが入居しています。意欲と能力のある市内の事業者が育てば、入れ替わりが激しいSCでは新たに入居することも可能です。 ロードサイドにこれから必要なのは「発信地」ではなく、南畑などカントリーサイドへの「発進地」ではないでしょうか。 幹線道路と大規模な駐車場は、富士見ご当地の風景ではありませんし、昔から伝わる遺したい富士見の風景でもありません。そのような場所に「古民家をイメージした」道の駅レストランや直売所を建ててもつまらないような気がします。「本物」の生産地が目の前にあるのに、消費者をそういったロードサイドの施設に閉じ込めておく必要はないと思います。光る力はまだ弱いものの、カントリーサイドはキラキラと発信をしています。納屋を改造したレストランで、眼前の水路が奏でる水の音や稲穂の眩しさを感じ、生産者の方とふれあひながら食体験ができます。土の匂いや足元のフカフカした感じを楽しみながら、果実狩りができます。広い公園で日光を浴びて走り回ったり、精巧に再現された古民家を楽しんだりした後に、目の前の直販所に行くこともできます。 このような視点からは、ららぽーと富士見と一体的に運用できる場所に、「発進地」として、カントリーサイドへのシャトルバス・観光タクシー・レンタサイクルの発着機能と、時間調整のための小規模なカフェ・待合スペースこそ必要かと思えます。 シャトルバスについては、市内循環バスを、平日はこれまでどおり公共施設や病院等を繋ぐ市民の足として、休日には一部をロードサイドとカントリーサイドを結ぶ手段として活用できないでしょうか。市内交通の中で民間路線バスが充実してきたので、市内循環バスをより不採算路線・狭路に投入するため車両の小型化も考えられ、カントリーサイドへの乗り入れも楽になるかと思えます。	貴重なご意見として賜ります。	・「つきいち」や「ふじみマーケット」といった地産地消を推進する催しは大変人気があり、本市としても地元の農産物等がしっかりと提供していける仕組みを構築していくことが重要な取り組みであると認識しております。また、市民意識調査では、「ご当地グルメや昔から伝わる食」の認知度が低い結果にあるため、その発信地として「道の駅」の検討をしていくとしたものです。 ・市内循環バスについては、現在、地域公共交通会議の中で、分析等を踏まえながら検討しております。車両の小型化などのご提案は貴重なご意見として賜り、引き続き研究を進めてまいります。
21	77	魅力的な土地利用の推進～にぎわいと雇用を創出します～	「産業誘致の推進」 52頁では「産業系・教育機関」という表記で、教育機関が独立した表現となっていますので、表記をそろえてはどうでしょうか。 大学本体は都心回帰していますが、それに伴うキャンパスの再編成により、大学附属中高や課外活動施設については郊外に移転する動きもあります。当市は、東上線人口の推移・バス路線・充実した体育施設にも対応できる土地・トレーニングに使えるサイクリングコース・都心とのアクセスの条件などは決して悪くありません。これら教育機関の誘致は期待できるかと思えます。	ご指摘のとおり修正します。	・教育機関の誘致についても、本市のさらなる魅力向上につながるものと考えておりますので、今後、シティゾーンや水谷柳瀬川地区における土地利用を推進していく中で検討してまいります。
22		(関連) 情報発信の充実～知ってほしい富士見の魅力を発信します～	「その他」 東武東上線、副都心線沿線自治体との相互協力を強化してほしいと思います。 ・相互にイベントやスポットを住民に紹介し合ったり、スマートフォン向けご当地アプリを統合したり、外に向けてのPRを共同実施するなど、沿線のブランド力向上を共同で図ってほしいと思います。JR中央線や東急田園都市線などと比べるとなかなか思い浮かぶイメージが無いような気がしています。	貴重なご意見として賜ります。	・埼玉県南西部地域(和光市・朝霞市・新座市・志木市・富士見市・ふじみ野市・三芳町)における連携については、埼玉県が中心となり、取り組みを進めておりますので、今後も連携を強化して情報発信の充実に努めてまいります。

「富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対する意見募集結果と市の対応について(案)

資料1

番号	頁	該当箇所	意見概要	対応方針	市の考え方
23			「その他」 都内自治体は特養を建設する土地に苦労しているのが、当市で引き受けてはどうでしょうか(国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略2015改訂版」の「日本版CCRC構想」参照)。それ自体も雇用や消費を生みますが、お爺ちゃんお婆ちゃんに面会に来る人(入居者からみた子・孫世帯)への効果もあります。人間関係と同じで、富士見にたびたび触れれば親近感を持ってもらえます。レンタサイクルや飲食など消費活動だけでなく、住み替え時の候補にもなるでしょう。	貴重なご意見として賜ります。	・特別養護老人ホームの整備につきましては、3年ごとに策定する高齢者保健福祉計画に位置付けて計画的に進めており、平成27～29年度を計画期間とする第6期高齢者保健福祉計画では、平成37年度までにおよそ100床程度の整備が必要と見込んでいる状況です。現状では当市の整備計画の達成に向けて専念しなければならない状況であり、都内自治体の受入までは困難な状況です。
24			「その他」 野外学習、農業体験、遠足、ロードレースがある中学校の連合体育祭、日帰り合宿など、都心での実施が困難な教育活動について、市内施設を貸し出してはどうでしょうか。シーズンオフ時のガーデンビーチのロッカー・シャワールームの貸出、給食センターによる食事の提供も考えられます。63頁「子ども大学」シリーズに、保護者が送迎することを条件に「留学生」として受け入れてもいいでしょう。 当市の児童生徒・地域の方との交流、保護者と個人的に再訪、学生時代の思い出の地にすることができれば当市と縁ができるかと思えますし。	貴重なご意見として賜ります。	・市外の方に本市の魅力をさらに知ってもらえるよう基本施策「情報発信の充実」において取り組みを進めてまいります。ご提案にありますシーズンオフ時のガーデンビーチなどの市内施設の貸出については、施設の活用の中で研究してまいります。
25	64 65 75	「健康長寿の希望をかなえるまち」 「魅力と活力ある農業を創出するまち」	小学校区ごとの人口の推移がのっているが、各地区ごとに構成比は様々である。例えば、P64～P65にかかっている高齢者への政策の一つとして、小学校の空き教室を利用した地域学習交流の場としてみたり、P75にもある魅力と活力ある農業を創出するまちの施策として、学校農園を地域の方々と作っていくなど具体的な取組をお願いしたい。	貴重なご意見として賜ります。	・空き教室等の利用につきましては、学校の実態に基づき、子どもの安全を第一に考慮し、その活用を研究してまいります。また、市内全ての学校にある学校ファームを活用し、今後も学校応援団等地域の方々のご協力をいただきながら、農業活動等に取り組んでまいります。
26	51	(関連) 住環境の向上～安心と快適性の高いまちを創ります～	今後の空き家対策と子育て世帯の支援の一環として、リバースモーゲージの導入支援→リフォーム後、子育て世帯への売却や賃貸など、地域に人を循環させる施策をお願いしたい。丁度、国土交通省でも次年度予算にもりこまれており、地元の業者や金融機関との連携により、仕事の創設や家の地産地消を図って欲しい。	貴重なご意見として賜ります。	・空き家対策については、基本施策「住環境の向上」において、相談窓口の設置や空き家バンクなどの取り組みを進めてまいります。ご提案の金融機関との連携については、貸付優遇金利の設定など、金融機関のご協力を得ながら、検討を進めてまいります。
27	61 62	「子育ての希望をかなえるまち」	①ファミリーサポートセンター事業、②放課後児童クラブを発展させ、普段は働いてないが、知人の不幸や不慮の事故などの際に、子供を預けられる施設の開設をお願いしたい。現状は、①は相手の都合もあり、②は定員や働いていることなどの状況では利用出来ないこともあり、子ども119番のようなものがあるといい。	貴重なご意見として賜ります。	・ファミリーサポートセンターでは、依頼の状況に応じて複数の提供会員とマッチングする場合がありますので、会員登録時のご相談により対応してまいります。また、緊急の場合や時間帯によりファミリーサポートをご利用できない場合もあるため、緊急サポートセンターへのご登録も併せてしていただく対応としております。 ・放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、生活の場を提供するものです。現時点では、一時的な利用を実施する予定はありません。 ファミリーサポートセンターや緊急サポートセンターでの対応としております。
28	70	地域コミュニティの推進～地域が主役のまちづくりを推進します～	地域コミュニティと地域包括ケアシステムとを一体と考え、中学校区における組織作りを進めて欲しい。	貴重なご意見として賜ります。	・本市では、概ね小学校区単位での地域まちづくり協議会の設立を目指しております。 小学校区は、原則、児童が歩いて登校できるエリアということで設定され、高齢者でも集まることができる範囲と考えられることから、災害時の避難所となるなど地域コミュニティのエリアとして広く認識されているとともに、既存団体のエリア区分を調査したところ、小学校区を単位としている団体が最も多いことから、市としては小学校区を基本に考えております。